



みらいつうしん

5月号

2026年5月1日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 勝浦芳子



:.★。,::.°☆。° *:.*:。,:*:.°

☆好きな遊びと居場所をみつけて☆

青葉が美しい季節になり、園庭の鯉のぼりも気持ち良さそうに泳いでいます。子ども達も登園すると「ワ～鯉のぼりだ!」「すごい!」と指をさして喜んでいきます。鯉のぼりの由来は「昔、中国の黄河の急流に竜門と呼ばれる滝があり、その滝を登ろうと多くの魚が試みたものの登れたのは鯉だけで、登り切った鯉は龍なり、神様の化身になった。」という故事が元になっています。力強さや生命力に肖って、日本では、様々な困難に打ち勝って大成する立身出世の象徴として端午の節句に飾られています。みらいこども園の子ども達も、鯉のぼりのように逞しく成長して欲しいと思います。

さて、入園・進級してから1ヶ月余りが経ちました。4月当初の新入園児は「ママー!」「お家に帰りたい」と泣いて自分の思いを一生懸命伝える子、顔見知りの友達や上のお子さんを探して安堵する子、安心できる保育者にしがみついて何とか自分の気持ちを紛らわそうとする子等、タイプは様々ですが、自分のよりどころを必死に探している光景が見られました。その一方、いろいろな場所や進級児の遊びに興味関心をもって、積極的に活動して「楽しいね～、面白いね!」と園生活をエンジョイしているお子さんもいました。一人一人の思いはそれぞれですが、日に日に楽しみを見つけては笑顔が増えてきました。子ども達の適応力はすごいなと感心しています。きっと保護者の皆様の陰のサポートがあったことと感謝いたします。進級児も、新しい環境に戸惑うこともあります。見通す力も芽生えてきているようで、1つ大きくなった嬉しさと「失敗したらどうしよう」「うまくいかなかったらどうしよう」という新たな思いも混ざり合い、葛藤しているところも感じられます。人間形成を培う中で、とても大切なことですので、体験を繰り返すことで、1つ1つ解決して欲しいと思います。子ども達は、1つできるようになるとまた次へと挑戦していきます。成功体験をまず経験することが大事ですね。できたときは、「すごいね。頑張ったね」と必ず褒めて認めてあげてください。私達職員も、まず、一人一人の特徴を日々の生活から読み取り、子どもが安心して園生活を送れるように、環境を整えて教育・保育を進めています。これからも情報交換しながら、子ども達と一緒に見守っていきましょう。

先日、各クラスで4月生まれのお誕生会が行われました。本園は、お誕生会をとても大事にしています。この世に生を受けたことは、何物にも代えがたい尊いものです。みんなで祝いし、感謝の気持ちを持つことを丁寧に伝えていきます。登園時の朝の「おはよう」の挨拶のように、何かしていただいたら、「ありがとう」と自然に言えるように、感謝の気持ちが常にもてるよう導いていきたいと考えています。どうぞ、ご家庭でも「ありがとう」と言える関係性を作っていただけると嬉しいです。

最後に、これからの季節、温度が高い日が多くなります。体調を崩す場合もありますので十分健康管理をお願いします。また、睡眠は健康のバロメーターといわれるように、身体と心の安定にとっても影響を与えます。特に乳幼児は、脳の発達に必要ですので十分に睡眠がとれるようにしてあげてください。よろしくお願いたします。

縄跳びもらったら、やりたかったんだ!



100歳おめでとうの思いを
こいのぼりにのせて

なんだろう?
ドキドキ・・・

